

# information

※各講座の詳細は千葉リハホームページに掲載しています。

## 講習会・研修会 案内 ▶

### ■高次脳機能障害地域支援者向け連続講座2024

第3回 各論2: 記憶障害・遂行機能障害

日時: 2024年10月11日(金) 集合研修 14:00-16:00

第4回 各論3: 社会的行動障害・失語症

日時: 2024年11月15日(金) 集合研修 14:00-16:00

場所: 千葉市民会館 小ホール

対象: 高次脳機能障害者に対する支援を行っている、または高次脳機能障害に関心がある 千葉県内の事業所や医療機関にお勤めの支援者



各論は、それぞれの症状を深掘りしていきます！事例と具体的な対応もたくさんご紹介いたします。

# 高次脳機能障害地域支援者向け連続講座 2024

各回 参加無料

場所: 千葉市民会館小ホール JR千葉駅東口徒歩7分 JR東千葉駅 徒歩3分

集合研修 14:00~16:00

主催: 千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センター [高次脳機能障害支援部]

千葉県高次脳機能障害支援普及事業の一環として、地域の支援者向けに連続講座を企画しました。高次脳機能障害者の方への支援に役立てていただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

当講座は、2019年度から開催し今年度も6回目を迎えます。地域の支援者の皆様から「明日から現場の支援に活かせるように、支援の具体例も多く盛り込む、ミニ体験コーナーで一試できる等、工夫をこらしております。毎年「具体的に非難に分かりやすかった」「事例の仲間で出たみたい」と好評いただいております。皆様のご参加をお待ちしております。

各回とも 受付13:30 開会14:00 - 閉会16:00 座長: 森戸 崇行 (高次脳機能障害支援センターソーシャルワーカー) 講師: 千葉リハビリテーションセンタースタッフ

第1回	7/5(金)	■高次脳機能障害概論 講師: 安部英洋 (脳神経内科・リハビリテーション科 医師) ■ミニ体験「認知の見え方」 講師: 岡本美希子 (高次脳機能障害支援センター 作業療法士)	■受講対象者 高次脳機能障害の方に対する支援を行っている、または高次脳機能障害に関心がある千葉県内の事業所や医療機関にお勤めの支援者。定員の制限し、千葉県外の支援者の方はお申込みをご遠慮下さい。
第2回	8/16(金)	■各論1: 神経疲労(脳疲労)・注意障害 講師: 森戸 崇行 (高次脳機能障害支援センター 理学療法士) ■ミニ体験「アクアウォルサポート」 (作業療法士)	■申し込み方法 事前申込みが必須です。詳細は裏面をご参照下さい。
第3回	10/11(金)	■各論2: 記憶障害・遂行機能障害 講師: 岡本美希子 (高次脳機能障害支援センター 作業療法士) ■ミニ体験「手帳書作成」 講師: 森戸 崇行 (高次脳機能障害支援センター 理学療法士)	■申し込み方法 事前申込みが必須です。詳細は裏面をご参照下さい。
第4回	11/15(金)	■各論3: 社会的行動障害・失語症 講師: 先崎 暁 (精神科 医師) 講師: 高橋 誠 (リハビリテーション治療部 言語療法士)	■申し込み方法 事前申込みが必須です。詳細は裏面をご参照下さい。



# 掲示板



- 支援センターだより
- 全国の動き・イベント講習会報告

こ〜じのう掲示板は千葉県千葉リハビリテーションセンターや千葉県、全国の高次脳機能障害に関する情報を紹介する広報誌です

## 菜の花メッセージ

菜の花メッセージは、高次脳機能障害支援にかかわる方々から、応援メッセージをいただき掲載しております。



## 高次脳機能障害 支援養成研修が千葉県でも動き出します！

千葉県千葉リハビリテーションセンター  
高次脳機能障害支援センター長

森戸 崇行  
もりと たかゆき



今年度より、高次脳機能障害支援センター長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。ご存知の方も多いと思いますが、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定において高次脳機能障害を有する方への支援が評価され、加算がつくこととなりました。

この加算は、相談支援事業所と通所サービス(自立訓練(機能訓練)等)及びグループホームを対象としたものとなっています。

ここでは詳細にはお伝えできませんが、相談支援事業所では、高次脳機能障害の支援者養成に関する研修を修了した常勤の相談支援専門員を配置し、その旨を公表している場合。通所サービス及びグループホームでは、高次脳機能障害を有する利用者が一定数以上であって、専門性を有する職員が配置されている場合に、それぞれ評価する仕組みとなっています。この専門性を有する職員とは、相談支援事業所と同じく高次脳機能障害の支援者養成に関する研修した方となっており、研修を修了した従業者を50:1以上配置し公表している場合に加算の取得要件を満たすこととなります。

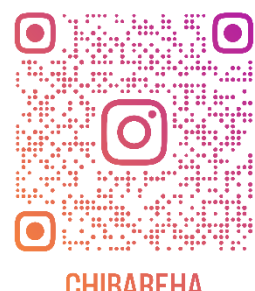
今回の障害福祉サービスの改定により、高次脳機能障害の支援ができる相談支援専門員や支援機関が増えることが期待されることです。この加算要件にある高次脳機能障害支援養成研修は各都道府県で実施に向けて準備をしていることと思います。今年度から行うところもあれば、次年度から実施できるように体制を整えているところもあり、それぞれに対応が異なっているところがありますが、徐々に全国各地で整備されていくことでしょう。

千葉県でも、今年度中に実施できるよう準備する方向で検討しています。初めての取り組みはどれも試行錯誤しながらだと思いますが、当方も手探り状態です。

支援養成研修についても他の都道府県の方々と情報交換をしながら、一定の標準的な内容を保つとともに良質な研修を実施していけるようにしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

## ◀ 千葉リハSNS できました！

ついに！待望の(?)千葉リハのSNSができました。各種研修会など、お役立ち情報をタイムリーに皆様にお届けできると思います。ぜひぜひ、フォローしてください♡



CHIBAREHA

ホームページも  
あるよ...→



## 編集後記

今年度もあっという間に上半期が過ぎました。色々な新しい取り組みも始まっており、森戸センター長のもと、職員一同頑張っていこうと気を引き締めているところです。

余談ですが、表紙で使用する写真を物色していた際に、森戸センター長の色々なコスプレ写真を発掘しました。編集後記にて、毎号少しずつご紹介していきたいと思っております。いつ巴るかな? (編集担当: K)



ふなっしー...ではない...  
もりっしーだ!

# こ〜じのう 掲示板

2024.9 vol. 52

発行日 ■ 2024年9月30日  
発行 ■ (社)千葉県身体障害者福祉事業団 千葉県千葉リハリテーションセンター  
千葉市緑区菅田町1-45-2 TEL 043-291-1831 (代) 内198  
発行責任者 ■ 地域支援センター 高次脳機能障害支援部  
部長 森戸 崇行 [高次脳機能障害支援センター]  
http://www.chiba-reha.jp/ ※ホームページからご覧いただけます





令和6年度  
千葉県脳損傷者運転支援連携会議

2024. 5. 17  
Web開催

千葉県作業療法士会と3つの医療機関が新たに加わり、18医療機関・職能団体が会議に参加しています。昨年度は日本安全運転学術集会在千葉県で開催され、当会の参加施設から多数の発表がありました。会議では運転支援に関わるアンケート調査や各施設での取り組みを知るよい機会になっています。年に1回は公安委員会(免許センター)からの参加があり、法令や手続きに関する講義と質疑応答が行われています。新たな取り組みとして、当センターホームページ内に当会の活動概要等を掲載いたしました。今後、ホームページ内の情報を更新していく予定です。

令和6年度  
県高次脳機能障害者ネットワーク担当者会議

2024. 7. 8  
千葉リハ

千葉県健康福祉部 障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班の担当者2名と千葉県の支援拠点機関4病院の支援コーディネーターが集まり意見交換を行いました。昨年度の取り組み紹介のほか、精神科領域との連携について、小児リハの状況について、Co研修会のテーマについて等様々な関心事が挙げられました。また、新たな取り組みとして、これまで千葉リハで作成していた「事業報告書」の取り扱いについて、今後全県の事業報告書としてまとめていくこと、支援拠点機関の養成研修についても今年度実施の方向で話が進むとのことでした。

令和6年度  
第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会

2024. 6. 26  
Web開催

「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業及び高次脳機能障害及びその関連障害に対する地域支援ネットワーク構築促進事業」に関する昨年度の全国各ブロックの課題や取り組みとして、高次脳機能障害支援の地域格差、引きこもり傾向の支援、小児の支援、ピアサポート、就労支援、社会的行動障害の支援などの課題や取り組みなど共通する課題や取り組み等の報告がありました。令和6年4月1日時点での支援拠点機関は123カ所が整備され、支援コーディネーターは470名の配置となっています。引き続き、各支援拠点機関で支援普及に関わる事業の中心となって実施していくこととなります。当センターも支援拠点機関として活動していますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度  
第1回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議

2024. 6. 26  
Web開催

今回は、堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンターの西脇氏・別府氏と大阪労災病院の安部氏から事例を交えた両立支援・復職支援の取り組みの紹介、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課の佐藤氏からは、一般就労中の就労系障害福祉サービスの一時利用についての講演がありました。グループ討論会では、高次脳機能障害者への復職支援の実施状況をテーマに活発な話し合いが行われ、全国のコーディネーターと意見交換ができました。

旭神経内科リハビリテーション病院

外部事業として携わっている復職・就労懇話会「ちば家族のWA」では、今年度は参加者の交流を目的にボーリング大会を行いました。ボーリングが初めてという方もいましたが大変盛り上がり、いつもに増して活発な交流の場になっていました。今後も、今回のようなレクリエーションの機会を設けていく予定です。 また、今年度は12月11日(水)に「失語症の方の就労支援について」というテーマで外部向け講習会を開催予定です。



▲ボーリング大会の様子

亀田リハビリテーション病院

今年6月22日より新院長が就任され、当院の高次脳機能障害支援事業の責任者も新院長の下地尚院長となりました。今後さらに当支援事業の活動拡大を進めていきたいと思ひます。

8月27日には、いすみ地区の自立支援協議会にて安房・いすみ地域で当事業の取り組みについての講演依頼があり、現状と今後の課題についてお伝えしてきました。やはり高次脳機能障害については認知はされているものの支援方法などについて普及啓発していくことが課題であると感じました。



▲新院長のもと、支援事業に進みます

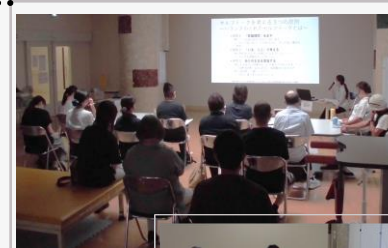


▲自立支援協議会での講演会の様子

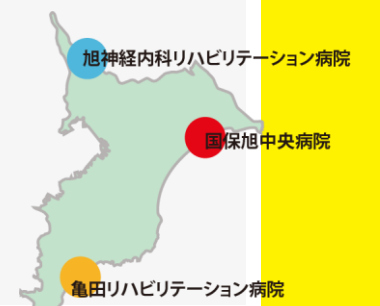
総合病院 国保旭中央病院

7月27日(土)に「高次脳機能障害 当事者・家族・支援者交流会」を開催致しました。今回は「ストレスを知って、対処法を考えよう!」をテーマに、講師からストレスの種類やストレスへの対処方法をご紹介頂きました。会の後半はグループワークを行いました。当事者の体験談や本音、各々のストレス対処方法などが話題に挙がりました。

今後も、当事者・ご家族同士の交流、支援者事業者の方々との情報共有の場となるように企画していきたいと思ひます。



▲写真2枚は当事者・家族・支援者交流会の様子



千葉県内には千葉リハの他に、地域支援拠点機関が3つあります。毎月3つの支援拠点機関の取組みや情報を掲載のなかで発信していきます。

千葉県の支援拠点機関情報



高次脳機能障害支援センターの近況や支援活動などを報告します。

当事者・家族のための高次脳機能障害勉強会 WEB開催!

当事者・家族の皆様の日々の生活にお役に立てたら…という想いで毎年開催しております。昨年度からWEB配信のみに切り替え、今年度は、参加対象も広げちゃいました!

今年度も高次脳機能障害について1時間程度の動画を2つご用意し、Web配信を行いました。今年度は、「当事者・家族」の方のみならず、「支援者」や「障害に興味のある方」も対象に加え、より幅広く見て頂けるようにしました。その結果、参加申込が2倍以上となり、皆様のニーズの高さが窺えました。

アンケートからは「具体的な事例が多く対処行動も役に立ちそう」「高次脳機能がピラミッド構造になっているという説明が分かりやすかった」等のお声を頂きました。次年度も広く皆様に提供できるよう、準備をしていきたいと思えます。



高次脳機能障害の主な症状と基本的な対応

WEB配信期間 7/8(月) 9:00 ~ 8/4(日) 終日

参加費 無料

第1回 障害者・家族のための高次脳機能障害勉強会

第2回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第3回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第4回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第5回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第6回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第7回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第8回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第9回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第10回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第11回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第12回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第13回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第14回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第15回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第16回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第17回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第18回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第19回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第20回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第21回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第22回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第23回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第24回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第25回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第26回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第27回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第28回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第29回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第30回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第31回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第32回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第33回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第34回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第35回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第36回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第37回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第38回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第39回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第40回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第41回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第42回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第43回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第44回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第45回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第46回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第47回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第48回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第49回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第50回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第51回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第52回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第53回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第54回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第55回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第56回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第57回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第58回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第59回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第60回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第61回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第62回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第63回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第64回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第65回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第66回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第67回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第68回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第69回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第70回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第71回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第72回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

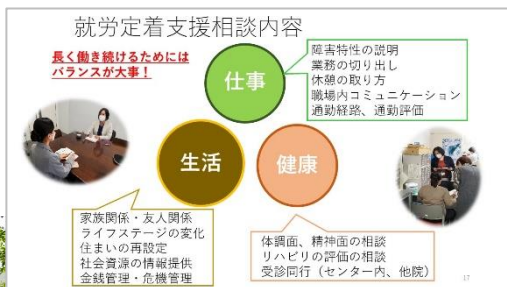
第73回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第74回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

第75回 高次脳機能障害の症状と基本的な対応

青年期家族グループ：千葉リハ更生園見学と懇談会!

学校を卒業したら、うちの子どうなっちゃうの?という不安や疑問に応える「青年期家族グループ」今年度第1回は、就労移行支援事業所見学ということで、一番身近な(?)「千葉リハ更生園」の説明・見学会を開催しました。



▲当日のお土産 (資料)

◀ 更生園の外観

初めての方も含め、8家族にご参加頂きました。社会に出ていく我が子にどんな準備があるのか、利用できるサービスはどんなものなのかといった今後への関心と、学校に行かないがどう声をかけたら…就職前にアルバイトをさせたいが…等、今ここで生じているお悩みまで、様々な語り合いがありました。アンケートでは「今後についての不安が少し解消された」「同じ境遇の方と会えて良かった」「是非継続して参加したい」等の嬉しいお声を頂きました。

更生園についてはこちらからどうぞ

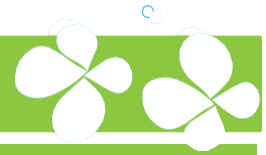


『第1回 家族のつどい』を開催しました!

参加者は7名(親4名、配偶者3名)で、初参加の方が1名いらっしゃいました。今回は懇談会を行い、近況やお互い聞きたいことなどざっばらんにお話し頂きました。リピーター参加の方が多く、メモが取れるようになるために家族がどのように関わっているか、ご本人が家族の助言を聞いてくれないという悩みなど話されました。「うちもそうです」と共感する場面も多く「ストレス貯まりますよね」とお互い言いながら笑いがこぼれる場面もありました。アンケートでは、全員が話したいことが話せたと回答、「悩みを話したり聞くことができてよかった」「家族のつどいに外出できることがストレス発散の一つになっている」などの声がありました。



▲労い合い、励まし合う皆様。スタッフも勉強になります!



## 小児高次脳 家族グループ

2024.7.8 13:15-15:00 千葉リハビリテーションセンター



4家族が参加し、「学校との連携について」をテーマに行いました。袖ヶ浦特別支援学校の特別支援教育コーディネーター赤木陽子先生による情報提供の後、交流を行いました。復学後、通常級と個に応じた支援を併用している方が多く、教育支援体制は柔軟になってきました。しかし、進級や進学後も支援が引き継がれることの難しさがあり、個別支援計画や当センター職員による学校訪問が役立つかもしれないという情報や、ある参加者の成長に伴う友人関係の変化に対する不安に対して、他の家族が経験を話されたりしました。今年度は残り2回の開催を予定しています。

## 高次脳機能障害 地域支援者向け連続講座2024 (第1回・第2回)

①2024.7.5 14:00-16:00 千葉市民会館小ホール  
②2024.8.16-9.1 オンデマンド配信



2019年度から開催し今年度で6回目をむかえ、今年も集合研修を企画しました。第1回は7月5日に「高次脳機能障害 概論」と「ミニ体験：面談の見える化」を行い、63名の参加がありました。質疑応答では積極的なご質問も多く頂きました。第2回は8月16日に「各論1：神経疲労（脳疲労）・注意障害」の予定でしたが、台風の接近に伴い集合研修を中止しました。2週間のWeb配信に変更し、58名の方に視聴していただきました。具体例を多く提示し、アンケートでは「わかりやすく参考になった」という感想をいただきました。

## カフェ輪駆

2024.8.5 千葉リハビリテーションセンター



今年の第一回のカフェ輪駆を開催致しました。18名の参加があり、お絵かき伝言ゲーム、グループに分かれて近況報告などを行っていただきました。就労している当事者の方々が集い、仕事でモヤモヤしたときの対処法や、やる気を出すために心掛けていることなど、活発に意見交換がなされていました。皆様笑顔を見せつつ、真剣な表情で語り合い、交流をされ充実した時間を過ごされていたかと思えます。参加させて頂いた私自身も学びの多い時間でした。今後も参加させて頂き、皆様の交流をお手伝いできるような精進していきたいと思えます。

## 高次脳機能障害リハビリテーション講習会 「高次脳機能障害のある子どもを支える」

2024.9.7 千葉県教育会館大ホール



講演 「高次脳機能障害の子どもの育ちを支援する ～点でなく線で支える大切さ～」  
大阪市立総合医療センター 温井めぐみ先生

ミニ講演 「子どもの復学支援 ～チームで支える～」  
千葉県袖ヶ浦特別支援学校 赤木陽子先生

講義では、高次脳機能障害のある学齢期～青年期の方の支援について、先生の豊富な経験を基に紹介されていました。さらにミニ講演で特別支援学校の現場における具体的な支援の方法やポイントがまとめられており、様々な視点から支援の在り方を考えられる講習会でした。特に印象的だったのは、ご本人の人生を木に例えて「みんな最初は同じ幹から始まっても、ゴールに向かって枝分かれしていく。その分かれ道が少し早いだけ。自分が目指すゴールに向かっていければ良い」という声掛けで、ご本人の在り方を肯定し、目指す道を応援出来る、素敵な比喻であると感じました。自身も先生方のように、当事者・家族に寄り添える支援者になりたいと思えます。